



明治41年(1908)の暦が刷られた材木商の引札。左が「瀬尾商店」、右が「源野弥太郎家」のものです。



肥料商 木村仁太郎家の引札(個人所蔵)  
 明治初年(1868)の記録によると、肥料商も大工職に次いで多く、需要の高さがうかがえます。